



Yasuni ITT Trust Fund

ヤスニITT信託基金について

ヤスニ・イシピング・ティプティニ・タンボコチャ (ITT) 信託基金は、エクアドル政府と国連開発計画 (UNDP) により2010年8月3日に設立されました。この基金は、ヤスニITT石油鉱区 (埋蔵量8億4,600万バレル) での石油採掘を完全に放棄するという、エクアドルの歴史的な決定を支える援助の受け皿となるものです。この油田が存在する地域は、世界で最も生物多様性に富んだ地域のひとつで、UNESCO (国際連合教育科学文化機関) によって生物圏保護区に指定されています。

ヤスニ基金の目的のひとつは、ヤスニで石油を採掘してそれを燃やした場合に起こる4億700万トンの二酸化炭素の排出を、採掘しないことによって回避することです。今回、ヤスニ基金の目的を達成するために下された採掘しないという決定によって、エクアドルは少なくとも72億ドル相当の石油収入をあきらめることとなります。またこの決定は、生物多様性とこの地域で生活する先住民族の文化と暮らしを守ることにもつながります。この計画の具体案が初めて公式に示されたのは、ラファエル・コレア大統領がスピーチを行った2007年の国連総会においてでした。

このユニークな計画は、環境負荷が少なく社会の誰もが利用できる再生可能なエネルギー・プロジェクトへの投資を通じて、気候変動問題と持続可能な開発に取り組むエクアドルを支え、エクアドルが利用するエネルギー源を徐々に変えていけるよう後押しするものです。

エクアドルは共同責任という考え方に沿って、自らの負担となる36億ドルと同じ額 (13年間の合計として) の寄付を、世界の政府、財団、民間セクター、そして一般の人々から募っています。もし2011年12月までに1億ドルが基金に集まらなかった場合には、エクアドル政府はこの歴史的な試みを中止して、すでに寄付・出資した拠出者には払い戻しが行われることになるかもしれません。



ヤスニに関する事実

- ・ヤスニは、地球上で最も生物多様性に富んだ地域のひとつです。
- ・ヤスニの土地1ヘクタールには、北米全体の在来樹種よりも多くの樹種が生息しています。
- ・ヤスニITT信託基金は、2010年8月に設立されました。
- ・エクアドルは、8億4,600万バレルの石油 (石油収入換算で72億ドル以上) を永久に採掘しません。
- ・石油採掘をしないことにより、4億700万トンの二酸化炭素排出を防ぎます。
- ・森林破壊が回避されることにより、8億トンの二酸化炭素排出を防ぎます。
- ・この合意を実行に移すには、2011年12月までに1億ドルが必要です。
- ・エクアドルの市民の78%がこのヤスニITTイニシアティブを支持しています。

ヤスニ国立公園の生物多様性

ヤスニ国立公園は、アマゾン、アンデス山脈、赤道が交わる場所に位置し、科学者らの言葉通り地球上で最も生物が多様な地域のひとつです。ここでは、南米の両生類、鳥類、は虫類、維管植物種まですべてが最も適した環境で生息しています。ヤスニで1ヘクタールに生息する樹種は、北米大陸全体の樹種よりも多いのです。ヤスニは、アマゾン流域でも最も人間の手が入っていない地域のひとつで、その比類なき多様性を維持することは世界にとって非常に重要なことなのです。

ヤスニ基金の目的

ヤスニITT信託基金には、資本金ウインドー (口座) と歳入ウインドーの2つのウインドーがあります。資本金ウインドー (36億ドル) に出資される資金は、再生可能エネルギー・プロジェクト (水力、地熱、太陽光、風力、バイオマス、波力による発電所) に使われます。

歳入ウインドーの資金は、以下の戦略的プログラムに使われます。

- ・森林破壊の防止と生態系の保全。
- ・植林、造林、天然更新、流域管理、100万ヘクタールの森林の適切な管理。
- ・基金の目的に含まれる分野での社会開発の促進 (保健、教育、研修、技術的支援。また、エコツーリズム、農業、生態系サービスの保護、農林業といった生産的な仕事の創出)。
- ・調査研究、科学、技術、イノベーションの支援。

管理の仕組み

ヤスニ基金運営委員会: ヤスニ信託基金は、エクアドル政府を委員長とする8人のメンバーによって構成される運営委員会が管理します。この運営委員会メンバーは、3人がエクアドル政府から、2人が支援国から派遣され、エクアドルの市民社会の代表が1人参加します。UNDP現地代表 / UN(国連)現地コーディネーターとマルチドナー信託基金(MDTF)オフィス執行コーディネーターの2人は、職務遂行上のメンバーとして加わっています。運営委員会は、必要な場合には外部者を招へいすることができます。運営委員会の決定は合意によって下されます。

運営委員会は、全体的なリーダーシップをとり、戦略的な方向性を定めて監督を行い、資金配分を決定し、基金の年間戦略計画の検討と承認を行います。また、出資者に提出し社会に広く発表する基金の進捗報告を承認し、基金の活動全体がうまく遂行されて透明性も確保されるように、ヤスニ基金のすべての活動の効果的なモニタリングと評価を監督します。

専門事務局: 運営委員会に対して、公平な立場から専門的な運営上の支援を実際に行うのが専門事務局です。専門事務局は要求に応じ、プロジェクト評価、能力評価、モニタリング、プロジェクト運営評価、その他の分析を行います。評価には、提案されたプロジェクトの財政状況、各専門分野の項目、運営状況に関してや、社会的・環境的な影響の調査、全体的な組織能力の評価が含まれます。専門評価は、専門事務局メンバーが直接行うか、あるいは十分な能力を有し、該当分野のプロジェクトに関する技術的な専門性を有する国家的または国際的な組織に依頼することができます。

基金管理者: ヤスニITT信託基金に出資された資金は、国連開発計画のマルチドナー信託基金(MDTF)オフィスによって管理されます。MDTFオフィスは、80カ国以上にわたる40を超えるMDTFを管理しています。MDTFには70以上のドナーと開発パートナーから50億ドルを超える資金が拠出されており、その透明性と責任ある管理には定評があります。UNDPは基金委託条件書(基金TOR)とUNDPの規定に沿って、エクアドル政府に代わり出資金を受け取って基金として管理します。また、基金運営委員会の承認を得たプロジェクトに対して基金から支払いを行い、基金の資金が使われた活動の年次財政・進捗報告を運営委員会と出資者に提出します。

MDTFオフィスはMDTFオフィス・ゲートウェイ(<http://mdtf.undp.org/yasuni>)を通じ、その管理下にあるヤスニも含めたすべてのMDTFの透明性と説明責任を保証します。このゲートウェイは、出資者と一般の人々に対して最新情報を提供し、財政状況は時間差が2時間以内というリアルタイムで報告します。



出資の方法

ヤスニITT信託基金への出資は、国、国家間の組織、NGO、民間の財団、民間セクターの団体、個人から受け付けています。出資の方法については、UNDPのMDTFオフィスのウェブサイトをご覧ください。
<http://mdtf.undp.org/yasuni>

ヤスニ保証書 (CGY)

エクアドル政府は、出資者に対してヤスニ保証書(CGY)を発行します。これは、ヤスニ国立公園内のITT鉱区の石油が永久に採掘されないという証となります。CGYは、出資額に応じた額面で発行され、それには排出が回避された二酸化炭素量(トン)が含まれています。

出資額が10万ドル未満の場合、それはヤスニ基金への寄付と見なされCGYは発行されません。CGYに利子はつきません。また、エクアドル政府がヤスニの石油を採掘しないという約束を破らない限り、CGYには期限も満期もありません。

詳しい情報については、ヤスニのウェブサイトをご覧ください。

<http://mdtf.undp.org/yasuni>

<http://yasuni-itt.gob.ec/>

ヤスニITT信託基金に関するお問い合わせ先

For Fund Resource Mobilization Issues:

Ms. Ivonne Baki, Plenipotentiary Representative & Head of the Yasuni Initiative Negotiating Team

For Fund Policy/Programme Issues:

Dr Maria Fernanda Espinosa Garcés, Coordinating Minister of Patrimony & Yasuni Steering Committee Chair

For Contributions and Fund Administration Issues:

Bisrat Aklilu, Executive Coordinator, MDTF Office
Multi-Donor Trust Fund Office, UNDP
730 Third Avenue – 20th Floor
New York, NY 10017 USA
Email: bisrat.aklilu@undp.org